

市長と話そう、まち育て タウンミーティング

- ・ 日 時 平成26年4月4日（金）
- ・ 場 所 市役所本庁舎
- ・ 参加者 岩手県建築士会北上支部
- ・ テーマ 国見山廃寺跡について

岩手県建築士会北上支部のみなさんと国見山廃寺跡について懇談を行いました。建築士会北上支部は、以前から国見山廃寺のPRについて取り組んでいます。

今日は7年後の展勝地100周年に向けて五重塔の再建や祭りについて提言がありました。



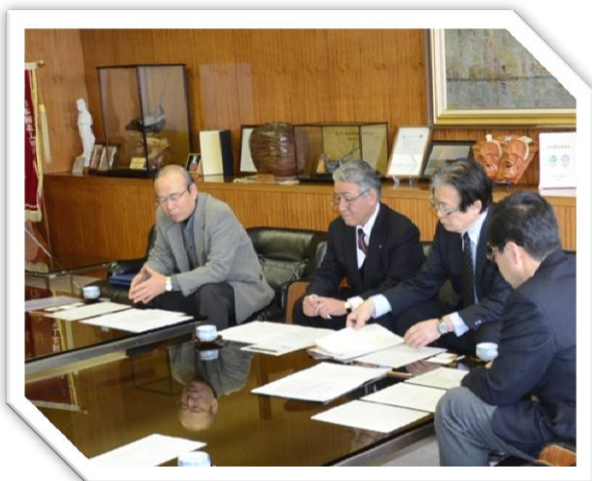
国見山廃寺跡（注1）を多くの人たちに知ってほしい

加藤さん

7年後の展勝地100周年にあわせ、五重塔を北上駅前再建しましょう。1,000年以上前に北上に五重塔が存在したということを知ってもらい、あわせて「建立する会」を立ち上げれば国見山廃寺を考えるきっかけになるのでは。

平野さん

実現すれば観光的にも効果の大きい文化財となるのではないのでしょうか。市長からもアドバイスをいただき、行政と一緒に進めていけたら嬉しいです。



市長

かわらけが発掘されたり（注2）と平泉以前はここに文化や風土に源流となるものが確かに存在したということがまだまだ市民に知られていません。

市長：

民俗村の管轄を教育委員会から商工部に移す予定です。それにあわせて博物館や鬼の館も再編を検討したいと考えます。訪れる人たちによりアピールしていきたいですね。

千田さん：

昨年埋蔵文化財センターで作ったパネル等の資料は一般の人たちが目にする機会を増やすためにも常設してはいかがでしょうか。

市長：

たしかに国見山廃寺の全体像を知ることのできる施設というのはないですね。もしかしたら今後は博物館を国見山廃寺に特化したものにしていくかもしれません。

千田さん：

国見山廃寺という言葉が世間に浸透していないこともありますよね。



市長：

五重塔再建の論争が巻き起これば、それがきっかけとなって国見山廃寺というテーマが盛り上がるのではないのでしょうか。そのためにも今後の取り組みに期待します。

北上みちのく芸能まつりや展勝地桜まつりのアイデア

平野さん：

みちのく芸能まつりは観るのが主体となっていますが、例えば参加者が鬼の面をかぶって踊れるような、市民がもっと参加できる祭りを企画してはどうでしょうか。

平野さん：

展勝地の桜まつりについてですが、並木道に沿って弘前のようにライトアップしてはどうですか。それとまつり時の渋滞を解消するために展勝地の前の道路を臨時に3車線化したり、町なかに駐車場を設けて、車の進入を規制してはどうですか。



市長：

芸能まつりは市ではなく、芸能まつり実行委員会で作られた意見に基づき作られるので、大きく方向性を変えるのは難しいと思います。

平成27年の開催に向けて見直しを図っていきますが、できるだけ議論をオープンにして、市民との意見交換の場も設けるなど市民のニーズを取り入れて進めます。

注釈

(注1) 国見山廃寺・・北上市稲瀬町内門岡地区にあった、今から1,000年ほど前の平安時代中頃に栄えた山岳寺院で、大規模なお堂や塔の跡が発見されています。

伝承によれば、700を超える堂塔、36の僧坊をもつ大寺院であったといえます。また「定額寺【じょうがくじ】(国営の寺に準ずる位置付けの私営の寺)」として歴史書にみえる「陸奥国の極楽寺」ではないかとも考えられています。平泉が繁栄を迎える150年以上前に栄えた、北東北の中心的な寺院だったとみられます。

(注2) かわらけの発掘・・国見山廃寺跡で1980年に出土した「手づくねかわらけ」が、最近の再検討により、平泉でこの器を用いる京都独特の儀式を導入し始めた頃のものであることがわかりました。

平泉に導入されてから時を経ずして国見山廃寺において同様の儀式が行われていたことは、奥州藤原氏が国見山廃寺を重視していた証拠だと分析されています。

見つかった「手づくねかわらけ」は直径16センチほどの素焼きのお皿で、手びねりにより作られています。